

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

有限会社プログレ総合研究所

②事業者情報

名称：かしの木ケアセンター	種別：短期入所
代表者氏名：福應 渉	定員(利用人数)：20 名
所在地：〒 354-0044 埼玉県入間郡三芳北永井381-3	TEL 049-258-0515

③評価実施期間

令和 5 年 月 日 (契約日) ~ 令和 6 年 月 日 (評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

利用期間中の生活スタイルは、利用者の選択を尊重している
 ショートステイ利用者への支援内容は、施設入所利用者と同様であり、利用者の意思を尊重する支援に努めている。できるだけ自宅においてできていることは継続できるよう環境設定をしており、法人イベントやユニット活動には、希望に応じて参加できる。生活介護との併用を希望せず、寝泊りのみの利用者は、必要な日常生活支援を受け自由に暮らしている。

面接調査チェック表には、初対面でも支援できるよう情報共有の工夫がなされている
 利用前の面接段階で、面接調査チェック表に生活様式、身体状況、排泄支援の方法、入浴方法、リハビリの取り組み情報、薬、趣味、現在利用しているサービスなどの詳細を記録している。面接調査チェック表には、支援上の注意事項の記載もあり、経験を積んだ職員であれば、その書類をみれば初対面でも支援できるよう情報共有の工夫がなされている。

新人指導の手引きを作成し、支援方法にできるだけずれが生じないようにしている
 指導者個々の主観による指導によって、支援方法にずれが生じないように新人指導の手引きが活用されている。この手引きには、新人研修で困ったことやそれをどのように是正するか等の検討事項が盛り込まれている。学びには、指導者と新人職員の合意形成が大事であり、自分達はこのような教えてもらえるんだとわかるよう事前にスケジュールを示している。

◇特にコメントを要する点

コロナ禍で制限した事を戻すタイミングを検討しつつ、現在の利用者ニーズに沿ったサービスがより充実することを期待する

ショートステイの利用者支援は、基本施設入所利用者への支援と同様であるが、自宅での生活継続を視点においている。コロナ禍で制限していた理容、外出などの支援は再開したものの、他事業所のサービス利用など、コロナ禍により制限をしていたサービスをまだ再開していない状況である。どのタイミングで制限を解除するかを検討をしつつ、現在の利用者ニーズ把握も意識し、利用者ニーズに沿ったサービスがより充実することを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、2回目の第三者評価受審でしたが、改めて丁寧な調査、聴取をして頂き大変感謝しております。今回は①利用期間中の生活スタイルは、利用者の選択を尊重している点、②面接調査チェック表には、初対面でも支援できるよう情報共有の工夫がなされている点、③新人指導の手引きを作成し、支援方法にできるだけずれが生じないようにしている点において高く評価して頂きました。ショートステイの利用者支援は、基本施設入所利用者への支援と同様であるが、自宅での生活継続を視点においている。コロナ禍で制限していた理容、外出などの支援は再開したものの、他事業所のサービス利用など、コロナ禍により制限をしていたサービスをまだ再開していない状況をどのタイミングで制限を解除するかを検討をしつつ、利用者ニーズに沿ったサービスがより充実することを期待すると助言頂きました。脱コロナという大切な時期に入っていますが、今回の助言を大切に施設運営に努めたいと考えております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり